

こころ医療福祉専門学校佐世保校
令和7年度学校関係者評価委員会議事録

1 日 時 令和7年7月27日（日）10:55～11:20

2 場 所 こころ医療福祉専門学校佐世保校 5階 503

3 委 員 出席：高橋 賢一郎（公益社団法人 長崎県柔道整復師会）
上田 陽介 （純心整骨院）
中野 仁、久野 貴史、甲斐 明日美

（敬称略）

4 開会のことば（学科長 中野）

本会の開会目的及び配付資料の確認を行う。学校自己評価報告書の評価点は、学生へのアンケート、教職員へのアンケートの結果の数値を基につけている。評価点が2以下となっている項目はなく、すべてが3以上となる結果であった。また、今後の改善方策、課題について、項目に則って記載をしている。

5 令和6年度学校自己評価結果報告（学科長 中野）一別添資料による
評価項目の達成及び取組状況

（1）教育理念・目標

学校の理念・目的・育成人材像は明確に定められ、将来を見通した社会や関連業界のニーズに応じるための人材育成に努めていて、適切である。

周知活動は入学前オリエンテーションや入学後の保護者面談、HP、こころ新聞等で努め、コロナ禍の影響は改善してきている。

教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会における、関連業界との情報の共有や改善の提起を継続する。

（2）学校運営

報・連・相の徹底を課題として、各部署における会議で検討し、建設的な議論を重ね改善に努める。個人自己評価・自己目標シートを用いて、具体的な目標・実施計画を立て、実現に向けて実践をする。

（3）教育活動

学科のカリキュラムは体系的に編成され、関連企業との連携を取り、臨床実習を通して実践的な職業教育が実施されており、職業教育の工夫に努めていて適切である。

年2回、教育課程編成委員会の開催、授業評価アンケートを実施し、より良い授業を実施するため改善に努めている。

新人職員研修会や年3回学園の教職員研修会を開催する等、内部研修を実施したが、コロナ禍前の水準には達していない。しかしながら、外部との活動等も少しずつ回復傾向にある。

(4) 学修成果

進学率・就職率・資格取得率の向上が図られているかの評価はほぼ適切である。退学率は減少傾向にあるが、予断を許さない状況は続いている。定期的な個人面談、成績不良者に対して追加の個人面談や保護者面談を行い、落伍や退学の低減を図る。

臨床実習やトレーナー部での外部活動を通して満足度向上を図り、学習に対する工夫と1年時から課題や放課後補講を充実させ、学力向上を図る。

卒業生と定期的に勉強会を実施し、相互連携を図る。

(5) 学生支援

支援体制の評価は適切、ほぼ適切となった。コロナ禍の影響で制限されていた外部活動も再開している。

今後も保護者に対しての学生の成績・生活状況等に関する情報提供を行い、アルバイトを含めた、効果的な生活支援対応、生活環境の安定に努める。

(6) 教育環境

施設面のメンテナンスを定期点検に実施し改善をする。

臨床実習指導者との連携を取り、実践的な臨床実習の充実を図る。

(7) 学生の受入れ募集

すべての項目で適切となっている。少子化や大学進学が進行し入学者数が減少しているのが課題。新卒者・社会人にデータに基づいた効果の期待できる広域的な広報活動を展開していく。

物価高による学納金の値上げは課題だが、職業教育校の魅力ある学校づくりを実践し、教育成果の周知を行っていく。

(8) 財務

適切、ほぼ適切の評価となっている。

少子化や大学進学者の増加による高校新卒者の減少となっている中、効果的な広報活動を行い、付帯教育の強化等、新しい事業展開を検討する。

(9) 法令等の遵守

適切となっている。

定期的な研修の場を設け、法令順守や社会規範・企業倫理に基づくコンプライアンスの意識の向上と体制強化に努める。

(10) 社会貢献・地域貢献

適切、ほぼ適切となっている。

様々な団体と連携し、学校内の施設を利用した社会貢献と地域貢献の機会を増や

し、ボランティア活動へ積極的に参加する。

(1 1) 国際交流

ほぼ適切となっている。

コロナ禍の影響による制限が緩和され、事前に近い活動を実施。今後はさらに地域行事への参加等を通して日本の生活文化に触れさせたい。

進学対応は順調に進んだが、希望進学先の開拓を課題とし、希望する進学を実現させるため、早めの進学支援等に配慮したい。

6 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

(1) 授業の充実と国家試験合格率及び就職率の100%達成

佐世保校は国家試験合格100%ならびに就職率100%達成という結果。

一昨年から国家試験を全員受験しており、評価が低いものは条件付き受験としている。卒業試験不合格の場合は、原級留置となっている。

(2) 留学生の受け入れ・指導

現在178名が在籍し、国籍はネパール、ミャンマー、スリランカ、バングラデッシュとなっており、ネパール出身者が多い状況である。日本語能力試験(N1～N5)の取得については、全員N4以上を目標としているが、半分以上が不合格となっており厳しい状況である。卒業後は全員が進学もしくは就職している。

(3) 学校体制として取り組む学生募集

30名定員であり、25名以上の入学を目標としており、苦勞している状況である。大学の学費無償化が制度としてあるため、大学進学が多くなっており、工業高校等の就職系の学校も、半導体関連企業の誘致の影響等で、就職率も良くなり、専門学校選択が伸び悩んでいる状況である。

7 学校の教育目標 令和7年度

(1) 学園ビジョン

地域のすべての産業と高齢化社会を包括的に支援できる組織になる。

(2) 学園ビジョン実現に向けたテーマ

地域社会から必要とされる組織であり続ける。

地域社会から必要とされる人材を提供する。

(3) 学校経営スローガン

各学科の「専門力を含めた人間としての総合力」の育成

(4) 重点教育目標

昨年度からの継続。国家試験、就職率の100%達成、職業人・社会人の育成等、資質の向上と学校の活性化を目指している。

入学者の定員数の確保。

(5) 具体的な対策

「授業の充実」を通した「教育の質」の向上
自立する職業人への準備教育の推進
退学者・不登校生の減少対策の推進
国家試験。進路指導の充実。
留学生教育の質の向上と基本的な生活習慣の確立
教職員の「自己評価制」によるスキルアップ
学生募集の強化

(6) 地域社会等との豊かな関係づくり

学園グループビジョン「地域のすべての産業と高齢化社会を包括的に支援できる組織になる」の具現化
関係各校、機関、施設等との連携強化
地域社会への貢献、あるいは学校の周知等を行う上でも関係づくりをさらに強化していきたい。

8 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 「授業の充実」を中心に置いた学校経営の推進

- ①「教育の質」の向上を通した学生や保護者の願いに応える教育の推進
- ②学生の「意思ある学び」に繋ぐ教員の学生指導力と学級経営力の向上
- ③学生の多様化・学力低下傾向に対する創意工夫と粘り強い指導の推進

(2) 国家試験合格率及び就職率100%達成

- ①各学科の「国家試験年間指導計画」に基づく計画的・組織的な指導の推進
- ②「模擬試験結果分析会」や「学力検討会」の開催
- ③個を重視した「キャリア教育」と年間指導計画に基づいて就職指導の推進
- ④「導入期教育」と「卒後教育」の充実

(3) 留学生教育の質の向上と日本語能力試験N4以上全員合格の達成

- ①留学生の指導体制の構築と学園内連携の強化
- ②日本語能力試験での全留学生のN4以上合格達成と進路開拓
- ③日本の基本的な生活習慣の確立

(4) 学校体制として取り組む学生募集—最低確保学生数20名

- ①高校との連携強化と信頼関係の構築—学校訪問・情報提供・広報啓発等
- ②学校体制としての学生募集の推進—広報課を中心に全職員で取り組む学生募集

(5) 報告・連絡・相談等による情報の共有と職場の活性化

- ①すべては初期対応が命と考え、早めにまめにを基本とする
- ②学科会を定例化し、情報の共有を図る
- ③独りよがりな判断、対応をせず、学校としての的確な対応をする

9 令和6年度学校自己評価結果に係る委員の評価

特に問題なし・・・○

追加の説明を求める・・・△

NO	点検項目	学校関係者評価
1	教育理念・目的・育成人材像	○
2	学校運営	○
3	教育活動	○
4	教育成果	△
5	学生支援	△
6	教育環境	○
7	学生の募集と受け入れ	○
8	財務	○
9	法令等の順守	○
10	社会貢献	○

10 令和6年度学校自己評価結果に係る評価書に対する△部分への補足説明

(上田) 退学率についての現状はどうか。

(中野) 現状、今年度の3年生は17名入学し、4名の退学(1年次に3名、2年次に1名)となっており、2年生は27名入学し、1名の退学(1年次に1名)となっている。1年生は21名が入学しており、2名が学習状況等で危うい状況である。しかしながら、以前に比べて退学率は大きく下がっている。入学者数の8割の国家試験受験者数を目指しているため、3年生についてはぎりぎり達成できるかという状況。退学理由として、3年生の4名のうち精神的な状況で2名、高校時代から病院等通院している学生であり、環境になじめず退学となっている。もう2名は進路変更のため退学となった。2年生の1名は仕事都合のためであった。

11 閉会のことば(校長 中野)

今回、評価報告書に挙げた内容以外にも何かお気づきの点がありましたらご教授ください。
ありがとうございました。